

-----4月6日-----

2015年

※ 今週のアウトルック (4/6~4/10)

先週金曜日に発表された米国雇用統計の結果が、思いのほか悪く、ドルは大きく売り込まれたまま週末を迎えています。

それまで米国の6月利上げに対する期待が幾分残っていたものの、今回の雇用統計の結果を受けて市場心理は6月利上げの可能性は少ないという方向に傾いたように思います。

先週金曜日の海外市場は休場のところが多く、雇用統計の結果が株式市場などへの程度影響が出るのか、まだつかみきれない状況にあります。

今週はまず、そのあたりの状況を確認してから動き出すこととなりそうです。

先週ドル円は米国雇用統計の予想外に悪い結果を受けて、118円台まで下落しました。これで6月利上げの可能性は大きく後退したように思います。

今週はまず、下げ止まりのラインがどの程度になるのかを見極める必要があります。ただ、このところの米国経済指標にはあまり良いものがなく、今回の雇用統計の結果を受けて、米国の景気にイエローシグナルが灯っていると、解釈する意見も広がってくるかもしれません。

その場合リスクオフムードが加速し、下げ止まりラインに到達するまで、時間がかかることとなりそうです。

ドル円の予想レンジは117円から120円です。

先週ユーロドルは、米国雇用統計の悪い結果の影響などにより、1.1付近まで回復してきました。

ただ、ギリシャ問題などの難しい状況に変化はなく、ユーロを買い進む状況にはないようです。今週は、株式市場などの動向を見極めながら、円の買い戻し状況も確認していく必要があります。

ユーロ円は方向性を探る展開から、徐々にユーロ売りに傾く可能性が幾分高いように思います。

ユーロ円の予想レンジは127円から132円です。

ポンド円は、なんとか176円から177円付近のサポートラインで踏みとどまっている状況です。今週は、ドルの売り込みが一服すれば、このサポートラインを突破する可能性が、高まってしまうように思います。

ポンド円の予想レンジは170円から180円です。

今週は、米国雇用統計の悪い結果が、どのように株式市場や為替市場に影響を与えるか、まず見極める必要がありますが、サポートラインを割ってきた時の急落には、十分注意する必要があります。

免責事項

当レポートを参考にトレードを行い、損失が生じた場合でも、責任は負いかねますのでご了承ください。